

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和5年5月25日（木）
- 2 確認箇所
既設アウターライズ津波防潮堤（4号機南側）
- 3 確認項目
日本海溝津波防潮堤の設置状況

4 確認結果の概要

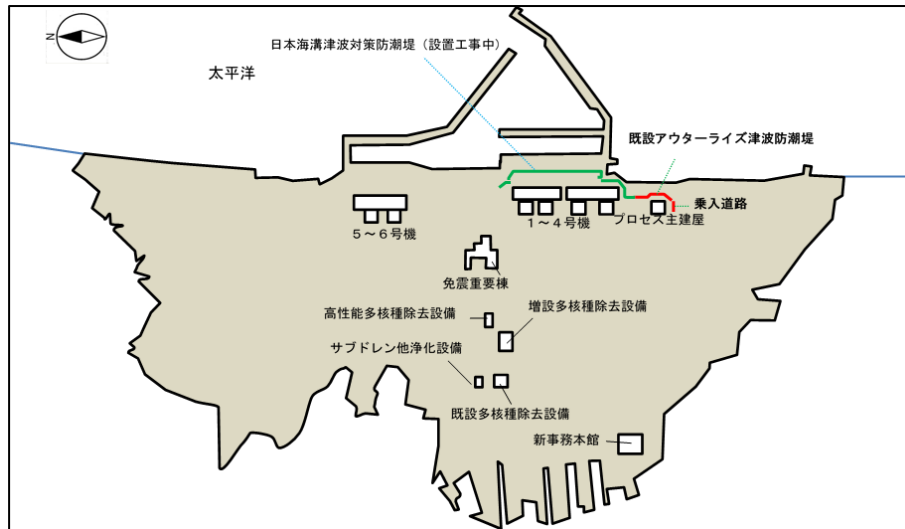
令和2年4月、内閣府「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」が日本海溝津波の発生が切迫していると評価したことを踏まえ、東京電力では、T.P. 11.8m規模と想定される日本海溝津波に対応する、日本海溝津波防潮堤の設置を進めている。

本日は、日本海溝津波防潮堤工事の一部として、4号機南側において既設アウターライズ津波防潮堤^{※1}に対して行われている工事の状況を確認した。

（前回確認：[令和5年3月1日](#)（4号機南側）、[5月9日](#)（1～4号機東側））（図1）

- ・アウターライズ津波防潮堤に対して行われている海側の法面補強が、上部の舗装等を除き完了していた。また、フラップゲートの海側に水路が構築されていた。（写真1）
- ・陸側側面を補強するためにコンクリート壁を設置する作業が行われていた。（写真2）
- ・アウターライズ津波防潮堤の上部では側溝を設置する作業が行われていた。（写真3）
- ・防潮堤本体の上部は道路となる予定となっており、この道路にアクセスするための乗入道路の設置が進められていた。（写真4）

※1 アウターライズ津波防潮堤：東日本大震災の震源域より東側の「アウターライズ」と呼ばれる海底を震源とする地震で発生すると想定される津波がアウターライズ津波であり、福島第一原子力発電所ではT.P. 4.1mの高さが想定されている。アウターライズ津波防潮堤は仮設防潮堤として2011年6月に設置された。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
4号機南側における日本海溝津波防潮堤（アウターライズ津波防潮堤の法面補強）の状況（北東側から令和5年3月1日撮影）



(写真1-2)
4号機南側における日本海溝津波防潮堤（アウターライズ津波防潮堤の法面補強）の状況（北東側から令和5年5月25日撮影）



(写真2-1)
4号機南側における日本海溝津波防潮堤の防潮堤本体工事の状況（南西側から令和5年3月1日撮影）



(写真2-2)
4号機南側における日本海溝津波防潮堤の防潮堤本体工事の状況（南西側から令和5年5月25日撮影）



(写真3-1)
4号機南側におけるアウターライズ
津波防潮堤上部の状況（南東側から
令和5年3月1日撮影）



(写真3-2)
4号機南側におけるアウターライズ
津波防潮堤上部の状況（南東側から
令和5年5月25日撮影）



(写真4)
プロセス主建屋の南側における乗入
道路の整備状況（北西側から令和5
年5月25日撮影）

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。